

# Espoir松下

発行：医療法人仁心会 松下病院  
〒899-5102  
鹿児島県霧島市隼人町真孝998番地  
TEL0995-42-2121 FAX0995-42-0149  
<http://matsushitahp.org/>



□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□

## 松下病院の理念

松下病院は、  
生命の尊厳と人間性の尊重を基本に、  
地域社会と連携を図りながら、  
病に苦しむ人々に、あたたかい医療と看護、介護を提供し、  
社会に貢献します。

## 病院機能評価受審の説明会に参加して

松下病院顧問 田中 一郎

長年の懸念事項でもあり、また数年前から、それぞれの部署で受審に備えての準備を整えてきていた「日本医療機能評価機構＝本部：東京」による訪問審査が、いよいよ来年の2月に決定しました。

その受審に際しての説明会が、去る8月31日（火）、東京において行われ、病院長、事務長ほか、計4人出席いたしました。

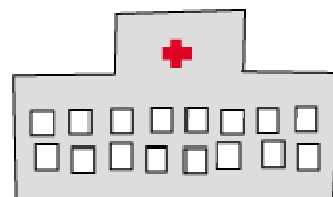
ご承知の方も多いかと思いますが、この審査は、「監査」の類のものではなく、今、当院が抱えている問題点やこれから先、どうあるべきか等の課題に対して、外部評価団体から見た第三者の目で、公正な評価をしてもらい、その結果を今後の病院運営に活かそうということを狙いとした審査です。

例えば、駐車場やトイレはバリアフリーが確保されているか、療養生活に必要なスペースが確保され、空調、静寂、照明や癒しの環境に配慮されているか等のハード面と職員を対象とした教育、研修の機会は保障されているか、広報活動や地域の関連機関との連携が保たれているか等のソフト面からなる、約550項目のチェック項目が設定されていますが、これをパスしなければなりません。

もちろんパスすることのみが目的ではなく、指摘されたことを今後どう生かし、病院全体でどう取り組んでいくか、その「過程」が評価の対象ともなります。その意味で、「受審」は「ゴール」ではなく、むしろ「スタート」になるのではと職員一同、本来の業務のかたわら、手順やマニュアルづくりに追われている毎日です。

と、同時にそれをどう職員に周知し、実際、職員がそのとおりに動いてくれるのかという作業も含まれており、いわば「業務の見直し」、一種の「意識改革」だと受け止めております。

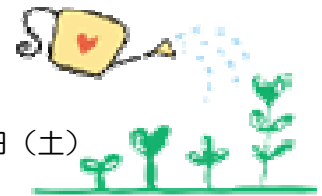
大変な作業であることは承知の上ですが、この受審は、職員一人一人にとっても貴重な経験になるのは言うまでもなく、後々の大きな財産にさえなるのではと期待しております。この審査を機にさらに地域に開かれた、よりよい病院づくりを目指していきたいと考えておりますので、今後ともご協力ご理解のほど、宜しくお願い申し上げます。



## 病院の基本方針

1. 私たちは、現在の複雑な社会で傷つき、病んだ人々に対して、誠実と愛情を持って接し、その病からの回復と社会復帰に努め、地域医療に貢献します。
2. 私たちは、医療の倫理に則り、人間の尊厳と人権を守りつつ、自己の科学的知識と技術のすべてを捧げます。
3. 私たちは、それぞれの職場で力を合わせ、和の心で医療に従事します。
4. 常に医学や看護学の研究に努め、新しい知識を吸収し、医療の進歩に遅れないように努めます。
5. 病気を持つ人の背景にある過程や社会について、深い理解を持つとともに、社会に対する奉仕の気持ちを忘れないように努めます。

## 霧島市民公開講座



「みんなで認知症を考えてみませんか」というテーマのもと、去る8月28日（土）国分シビックセンターで市民公開講座を開催いたしました。

これは霧島市の共催を得、昨年の12月に開設された「認知症疾患医療センター」の主催で開催したもので、

講演：「認知症という病気の理解」講師 吉牟田 直孝（認知症疾患医療センター長）

公演：「わたしはどうすればいいの？」 介護劇団 たけちゃん一座

の2本立てで行いました。

約200席用意した会場はほぼ満員で、市民の皆さんの認知症に対する関心の高さが伺えました。講演会では、

①認知症はある年齢の世界で生きている。その年齢に合わせた対応をすべきで、子ども扱いするのはまずい。

②失われた部分には、極力目をつぶり、正常な残された部分を見つけて語りかける努力を。

③元気な、いい時のイメージが残っているばかりに、その時の状態と今の状態を比べようとしがちな対応は反省すべき。

などの認知症に対する基本的な対応の仕方学びました。



また、竹ちゃん一座による認知症をテーマにした公演も、講座に花を添えてくれました。

笑いあり涙ありの熱演でしたが、笑いの中にも、現在、誰もが抱える可能性のある家庭的、地域的な問題を提起していただいたようで、充実のひとつきを過ごすことができたのではないかと思います。

## 夏祭り演芸会

去る8月26日（木）、夕闇迫る病院内のグラウンドで、夏祭り演芸大会が開かれました。特別ゲストに鹿児島市西伊敷小学校合唱団の皆さんによる元気一杯の歌も祭りを盛り上げてくださいました。

参加者もふだんは着慣れない浴衣を身につけ、カラオケなど、当夜だけ開店の夜店で、思い思いに買い物や飲食を楽しんだひとときだったようです。





## 第10回 心の病を持つ仲間の作品展

隼人・国分サティにて 9月18日(土)、19日(日)の2日間行われ、デイケアひいらぎ会も参加しました。

霧島・始良地区の仲間たちが日頃の活動の成果を発表する機会とあって、毛筆やフラワーアレンジ作品、手縫いのふくろうアートなどを並べ、メンバーは訪れた来場者と作品を通し交流していました。



## 今月の意見箱から

当院には、各病棟、部署に意見箱を設置、患者さんやご家族からのご意見、ご要望を募り、当院運営の参考にさせていただいております。

9月のご意見より

\*\*\*\*\*

外来かデイケアに日経新聞をおいて欲しい。⇒対処する方向で検討します。

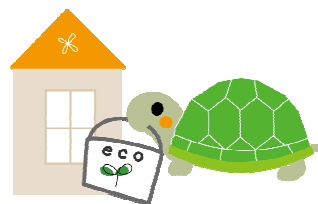
\*\*\*\*\*

## 患者憲章

患者様は、

1. だれでも、一個人としてその人格を尊重される権利があります。
2. 公平な医療、看護、介護を受ける権利があります。
3. 自分の病気、治療に理解しやすいことばで説明を受ける権利があります。
4. 医療機関を選択・変更する権利、別の医師の意見を聞く権利があります。
5. 全ての個人情報を守られます。
6. 以上の権利を有するとともに、病院の診療や看護・介護等療養生活の規則を守る義務もあります。

## エコキャップ活動報告



昨年より、デイケアで取り組んでいる エコキャップ活動では  
現在までに、キャップ 47,560 個を回収し、ポリオワクチン 60 人分相当をエコ  
キャップ推進協会へ寄付しております。(平成 22 年 10 月 8 日 現在)

毎週 木曜日に各病棟や各部署をメンバーが回収にまわっております。  
小さなキャップ1つでも分ければ資源です。これからも、ご協力を宜しくお願いします。



# デイケア ひいらぎ会 家族会開催します！！



日時 平成 22 年 11 月 30 日 (火)

受付 13:30 開始 14:00

場所 松下病院 デイケアセンター

ご家族どなたでも、参加できます。是非お越し下さい。

## 診療実績

平成 21 年度・月別初診患者数

年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
精神科	44	31	49	61	62	48	45	42	32	53	45	59	571
内科	17	12	15	12	12	8	13	21	13	35	15	20	193
合計	61	43	64	73	74	56	58	63	45	88	60	79	764

## 外来診療案内

**診療科目** 精神科・心療内科・老年精神科・内科・神経内科・リハビリテーション科  
**受付時間** 8:30～11:00  
**休診日** 第2、第4、第5土曜日、日曜日、祝祭日  
**※初診の患者様については予約制となっております。**  
**受診される前に病院へお問い合わせください。**

### その他の診療

**循環器科** 毎週月曜日・木曜日  
 心エコー・24時間ホルター心電図等

**消化器科** 毎月第2・第4金曜日（変更あり）  
 胃カメラ・大腸ファイバー・腹部エコー等  
**※検査前に食事制限がありますので、受診希望の方は事前に病院へ必ずお問い合わせください。**

**漢方薬外来** 毎週月曜日・木曜日

**ストレス・心療内科 専門外来** 毎週木曜日（第1木曜を除く。午前及び午後2時～4時）  
 志学館大学 野添新一教授（前鹿児島大学心身医療科 教授）  
**※予約制ですので、事前に外来へ連絡してください。**

## 外来日程表

※第2・第4・第5土曜日は休診です

診察室	月	火	水	木	金	土
第1	穂満 心療内科部長	富永 (心療内科)	穂満 心療内科部長	笠毛 (精神科)	穂満 心療内科部長	穂満 心療内科部長
第2	吉牟田 直孝 院長	吉牟田 直 理事長	吉牟田 直 理事長	野添教授	吉牟田 直孝 院長	第1: 院長 第3: 理事長
第3	相良 精神科部長	野田教授	吉牟田 直孝 院長	相良 精神科部長	相良 精神科部長	村永 (神経内科)
第5	有馬 (リハビリ科)	吉牟田 直孝 院長	福元 診療部長	福元 診療部長	富永 (心療内科)	
第6	原田内科部長 (循環器・漢方)	福元 診療部長	富永 (心療内科)	原田内科部長 (循環器・漢方)	麻酔科医師	

第2・4金曜日 種子田(消化器科)



### 編集後記

秋の夜長をしみじみ感じる今日このごろ皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今回の広報誌では、認知症の市民講座や、夏祭りの模様などを掲載してみました。いかがでしたでしょうか。お忙しい中ご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。

今後とも、皆様が楽しく読んでいただけるような広報誌を目指したいと思いますので、引き続きご愛読宜しく申し上げます。

(羽生)